

アルゴリズムとデータ構造

基数探索（その2）

演習1（必須課題）

- プログラムを実行して，パトリシアの動作を確認せよ．
実行方法は次ページを参照せよ．
 - Moodleより入手できるプログラム．
 - ItemD.c, ItemD.h, ST.h, STtestD.c ST_pat.c

この課題は提出不要

コンパイル/実行

ランダムな5個の要素
を挿入し, 表示せよ

パトリシアでは最初に「0」と表示される. これは, headが指す「**ダミーの節点**」である

```
$ gcc -o STtestD STtestD.c ItemD.c ST_pat.c
$ ./STtestD 6 1
0 30887 36916 38336 47794 89384 92778
6 keys
```

ダミー節点があるため,
ここに0と表示される

演習2（加点課題）

- パトリシア木について，sortR関数を参考にして，STshow関数を実装し，動作確認をせよ． Stshow関数については，次ページを参照すること．
- Moodleより入手できるプログラム．
 - ItemD.c, ItemD.h, ST.h, STtestD.c ST_pat.c
- 提出
 - 記号表に10個の要素をランダムに挿入した場合について，レポート本文として提出すること．
 - ソースコード（ST_Pat.c）を添付ファイルとして提出すること．

木の形状が表示されるように STshowを実装する事.

ランダムな6個の要素
を挿入し, 表示せよ

```
$ gcc -o STtestD STtestD.c ItemD.c ST_pat.c
```

```
$ ./STtestD 6 1
```

```
0 30887 36916 38336 47794 89384 92778
```

```
6 keys
```

```
      (92778: 3 1)
     (89384: 0 0)
          (47794: 3 2)
              (38336: 6 3)
          (36916: 1 1)
              (30887: 2 2)
```

ダミー節点があるため,
ここに0と表示される

比較の“bit”を表示

深さを表示